

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|----------------|
| ○事業所名 | テトラココアニー大手前 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年 2月 10日 | | ～ 2022年 2月 22日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 19 | (回答者数) 10 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年 2月 10日 | | ～ 2022年 2月 20日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9 | (回答者数) 9 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 3月 13日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 作業療法士・言語聴覚士・保育士・児童指導員・心理担当職員といった専門職が療育・支援に関わっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所内にとどまらず、法人内の各専門職に意見を求めながら、計画の立案・支援を行っている。 ・持参いただいた検査結果を各専門職の知見に基づきながら詳細に読み解き、支援につなげている。 ・必要があれば、法人内で検査を取ることが出来る体制が整っている。 | 各職員が持つ知識の共有を、さらに深めていく。 |
| 2 | 本人の課題に合わせたプログラムを計画し、実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・半年後や、就学時点を見据えた上で、本人に合わせた目標設定と個別支援計画の作成をおこなっている。 ・マンツーマンの個別指導では、個別支援計画を踏まえながら、本人の今の力に合わせた課題を指導毎に作成し、実施している。 | 各種教材をさらに充実させていく。 各職員が持つ知識の共有を、さらに深めていく。 |
| 3 | 小学校を見据えた移行支援の視点で、日々の支援を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の学習につながる言葉や数の基礎概念に関する支援を行っている。 ・教員経験のある職員から、実際の学校現場で困りやすい事柄、出来た方がいい事柄などを聞き取りながら支援にあたっている。 ・就学相談に関する情報提供などを行っている。 | 保育所等訪問支援事業との併用を促していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|------------------------------|---------------------------|
| 1 | 送迎サービスがないため、保護者の送迎都合の欠席が生じてしまう。指導回数が減ることにより、計画していた支援内容が十分に実施出来ない。 | 送迎サービスを行っていないこと。 | 定員に余裕がある日への振替授業の実施を行っていく。 |
| 2 | 放課後等デイサービスへの移行時に、定員の都合で同法人内で継続支援できない場合がある。 | 他教室含めた放課後等デイサービス部門の空き枠がないこと。 | 新規教室の開設に向けての取り組みを続けている。 |

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|----|--------------|
| ○事業所名 | テトラcocoアニー大手前 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 2月 10日 | | 2025年 2月 22日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 33 | (回答者数) 10 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 2月 10日 | | 2025年 2月 22日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8 | (回答者数) 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 3月 15日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 作業療法士・言語聴覚士・保育士・児童指導員・心理担当職員といった専門職が療育・支援に関わっている。 | ・事業所内にとどまらず、法人内の各領域の専門職に意見を求めながら、支援計画の立案・支援の実践を行っている。 ・持参いただいた検査結果を各専門職の知見に基づきながら詳細に読み解き、支援につなげている。 ・必要があれば、法人内で検査を取ることが出来る体制が整っている。 | ・各職員が持っている知識の共有をさらに深めていく。 |
| 2 | 本人の課題に合わせたプログラムを計画し、実施している。 | ・半年後や、次の進路を見据えた上で、本人に合わせた目標設定と個別支援計画の作成を行っている。 ・マンツーマンの個別指導では、個別支援計画を踏まえながら、本人の今の力に合わせた課題を指導毎に作成し実施している。 | ・各種教材や教員をさらに充実させ、教材研究を深めていく。 ・各職員が持つ知識の共有を、さらに深めていく。 |
| 3 | 進路情報を収集し、移行支援の視点から情報提供や日々の支援を行っている。 | ・各種学校について情報収集を行っている。進路説明会を毎年実施し、弊社を利用していない保護者の方へも広く情報提供を行っている。 ・本人とも各種学校について情報提供を行い、自分自身の将来についての視点を養う機会を持っている。 ・希望の進学先を見据えて、支援計画の作成を行っている。 | ・各種学校の動向について最新情報を収集できるようにしていく。 ・より一層学校と連携していく。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 送迎を実施しておらず、保護者の送迎が必要になり送迎不可の場合に欠席となる。 | ・来所日数が減ることで、計画沿った支援が十分に行き届かないことがある。 | ・定員に余裕がある日にちへの振替を提案していく。 |
| 2 | 放課後等デイサービスの定員に空きがなく、お問合せをいただいた時点ですぐにご利用を案内できない。 | ・新たにお問合せをいただいても、放課後等デイの定員を満たしているため、すぐにご利用いただくことができず、待ついただくことが多い。 | ・各事業所に空きが出ればすぐにご連絡する。 ・新規教室開設に向けての取り組みを行う。 |
| 3 | | | |